

だかまつの森

港区立高松中学校 学校だより<第4号>

令和6年7月16日 校長 中山 幸子

創立1949年(昭和24年) 高松中学校は今年度で75周年を迎えました。港区高輪1-16-25

1学期をふりかえって

正確には1学期は8月31日までですが、授業(補習学習を除く)があるのは今週末までです。1学期は生徒一人ひとりにとって、どのような時間だったでしょうか。一つでも、少しでも手応え(成功や失敗から得られたもの)や、達成感などを感じた「成長」があったのではないのでしょうか。

また、ご家庭での1学期の様子を親子で話せる時間があれば、おのずと感謝の気持ち(気恥ずかしくて言葉には出さないかもしれませんが)を生徒は思い起こせると思います。

また、私たち教職員のふりかえりも当然、行います。成果と課題をしっかりと見極め2学期に向けて活かしていきたいと思えます。

今年度は、学校運営協議会(コミュニティスクール委員会)が設置され、保護者・地域、関係機関、学識経験者の皆様との熟議をもとに、教育活動をさらによりよくできる体制となりました。体育大会では地域コーディネーターの三浦さんが学生ボランティア6名をご紹介くださり、大変、助かりました。第二回の学校運営協議会は7月18日(木)に実施されます。



そして、5月号でもお知らせした「杏プロジェクト」も地域の方との交流ができました。プロジェクトメンバーの学習用端末を使った情報共有や報告書の迅速さには頼もしさを感じました。部活動、塾や習い事、生徒会等の盛沢山ある放課後をうまく時間を利用してくれたメンバーに感謝しています。何よりうれしく思うのは、生徒や学習活動にご協力いただく皆様に感謝できる瞬間だと個人的には感じます。ここでこっそりお伝えしますが、今日の(何日の)何時間目の授業、見に来てくださいや部活動、見に来てくださいと言ってもらえることに有難く、校長冥利に尽きると思っています。

7月号の写真は、大会や試合、コンクール等でクローズアップされにくい部活動を中心に掲載させていただきます。(タイミングを逸してしまった部活動は後日、ご紹介させていただきます。)



茶道部恒例の浴衣を着てのお点前をご指導いただきました。お菓子は落雁です。みんな素敵ですね。夏の風物詩のようです。



右上下は、小中交流時の吹奏楽部の管楽器と打楽器の体験の様子です。楽しそうですね。



こちらも、小中交流の部活動体験の様子です。相手をしているのは都大会出場の先輩です。都大会は今月22日、23日です。

7月22日から26日まで三者面談、26日から28日までの夏季学園もあります。どうぞよろしくお願いいたします。

1学期の教育活動へのご理解、ご協力をありがとうございました。

科学部は、ストローの笛づくりを、陸上部は雨で屋内練習をしている様子を、華道部はお師匠さんの説明を真剣に聞いているところを掲載しました。

